

令和 7 年度
藤里町教育委員会事業
点検・評価報告書

藤里町教育委員会

令和 8 年 8 月

はじめに

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが定められました。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、令和7年度の教育委員会の点検及び評価を行い、報告するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

～目 次～

令和7年度 教育委員会関係会議の開催状況	・・・・・・・・	1
令和7年度 教育委員会関係会議の審議状況	・・・・・・・・	1
令和7年度 教育委員会審議案件等一覧	・・・・・・・・	1
教育委員会会議以外の活動状況	・・・・・・・・	5
教育委員会関係事業の実施状況及び評価	・・・・・・・・	6
1 藤里町の学校教育	・・・・・・・・	6
2 藤里町の社会教育	・・・・・・・・	11

本報告書の中では、各事業の評価を

A 達成している（施策の目的に大きく貢献した）

予定どおり進捗した

または、事業が施策の目的達成に大きく貢献した

B おおむね達成している

ほぼ予定どおり進捗していた

または、事業が施策の目的達成にある程度貢献した

C あまりできなかった

予定よりも遅れている

または、事業が施策の目的達成にあまり貢献していない

D 未達成

ほとんど進捗していない

または、事業が施策の目的達成にほとんど貢献していない

の4段階で示しています。

令和 7 年度 教育委員会関係会議の開催状況

藤里町教育委員会委員名簿（令和 7 年度在籍）

職 名	氏 名
教育長	金野 尚人
教育長職務代理者	佐々木 絵里子（R7. 9. 30 まで、10. 1 から委員）
教育長職務代理者	袴田 俊英（R7. 9. 30 まで委員、10. 1 から現職）
委 員	菊地 弘章
委 員	水戸 一美

・教育委員会定例会 1 2 回

令和 7 年度 教育委員会関係会議の審議状況

毎月初旬を目途に定例教育委員会を開催。条例、規則、要綱等の制定及び改廃の審議、教育関係予算、附属機関の委員の委嘱、行事の後援等について審議を行った。

令和 7 年度 教育委員会審議案件等一覧

4 月定例教育委員会（開催日：令和 7 年 4 月 10 日）

番 号	案 件
議案第 4 号	藤里町学校運営協議会委員の委嘱について
議案第 5 号	藤里町社会教育委員の委嘱について
議案第 6 号	藤里町公民館運営審議委員の委嘱について
議案第 7 号	藤里町藤里町三世代交流館運営委員の委嘱について
議案第 8 号	藤里町地域学校協働活動推進員の委嘱について
議案第 9 号	藤里町スポーツ推進委員の委嘱について

その他の主な報告・協議事項について
・事務報告について
・藤里町教育委員会職員の異動について
・藤里町学園教職員の異動について
・藤里町認定こども園の開園について（答申）
・行事の後援について

5 月定例教育委員会（開催日：令和 7 年 5 月 1 日）

番 号	案 件
なし	なし

その他の主な報告・協議事項について
・事務報告について
・スポーツ大会等の結果について
・行事の後援について（専決）
・藤里町認定こども園整備計画（案）について
・行事の後援について

6 月定例教育委員会（開催日：令和 7 年 6 月 5 日）

番 号	案 件
なし	なし

その他の主な報告・協議事項について
・事務報告について
・スポーツ大会等の結果について
・令和 7 年度一般会計（教育委員会分）補正予算（第 1 号）について（専決）
・藤里町認定こども園整備計画（案）について
・行事の後援について

7 月定例教育委員会（開催日：令和 7 年 7 月 3 日）

番 号	案 件
議案第 10 号	藤里町すこやか子育て支援事業支給要綱の一部を改正する要綱の制定について
議案第 11 号	藤里町立義務教育学校藤里学園管理規則の一部を改正する規則の制定について

その他の主な報告・協議事項について
・事務報告について
・スポーツ大会等の結果について
・行事の後援について（専決）
・学校給食における異物混入マニュアル（案）について
・藤里町認定こども園整備計画（案）について
・令和 7 年度一般会計補正予算（第 2 号）（専決）について

8 月定例教育委員会（開催日：令和 7 年 8 月 7 日）

番 号	案 件
なし	なし

その他の主な報告・協議事項について
・事務報告について
・スポーツ大会等の結果について
・行事の後援について（専決）
・行事の後援について
・藤里町議会総務委員会と教育委員会の合同視察について
・令和 6 年度藤里町教育委員会事業点検・評価報告について
・令和 7 年度能代山本市町教育委員会連合会委員研修会について

9 月定例教育委員会（開催日：令和 7 年 9 月 4 日）

番 号	案 件
議案第 12 号	令和 7 年度一般会計（教育委員会分）補正予算（第 4 号）の承認について

その他の主な報告・協議事項について
・事務報告について
・スポーツ大会等の結果について
・令和 7 年度一般会計（教育委員会分）補正予算（第 3 号）について（専決）
・行事の後援について

10 月定例教育委員会（開催日：令和 7 年 10 月 2 日）

番 号	案 件
議案第 13 号	藤里町教育委員会教育長の職務代理者の指名について

その他の主な報告・協議事項について
・事務報告について
・スポーツ大会等の結果について
・行事の後援について

11 月定例教育委員会（開催日：令和 7 年 11 月 6 日）

番 号	案 件
なし	なし

その他の主な報告・協議事項について
・事務報告について
・スポーツ大会等の結果について
・教科書図書採択地区に係る意向確認について（専決）
・行事の後援について

12 月定例教育委員会（開催日：令和 7 年 12 月 4 日）

番 号	案 件
議案第 14 号	令和 7 年度一般会計（教育委員会分）補正予算（第 7 号）の承認について
議案第 15 号	藤里町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
議案第 16 号	藤里町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 17 号	藤里町家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 18 号	藤里町放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について

その他の主な報告・協議事項について
・事務報告について
・行事の後援について
・藤里学園への吉田さんの寄付について

1 月定例教育委員会（開催日：令和 8 年 1 月 22 日）

番 号	案 件
議案第 1 号	令和 8 年度一般会計（教育委員会分）当初予算の承認について

その他の主な報告・協議事項について
・事務報告について
・スポーツ大会等の結果について
・藤里町スポーツ・文化栄誉賞授与基準の一部改正について（専決）
・行事の後援について

2 月定例教育委員会（開催日：令和 8 年 2 月 13 日）

番 号	案 件
なし	なし

その他の主な報告・協議事項について
・事務報告について
・令和 7 年度藤里町スポーツ文化栄誉賞授賞候補者の選考審議について

3 月定例教育委員会（開催日：令和 8 年 3 月 3 日）

番 号	案 件
議案第 2 号	藤里町立藤里幼稚園給食費無償化事業実施要項の制定について
議案第 3 号	藤里町学校給食における食物アレルギー等対応補助金交付要綱の制定について
議案第 4 号	藤里町学校給食費補助金交付要綱の制定について
議案第 5 号	令和 7 年度一般会計（教育委員会分）補正予算（第 1 2 号）の承認について
議案第 6 号	藤里町学校給食共同調理場設置等に関する規則の一部を改正する規則の制定について

その他の主な報告・協議事項について
・事務報告について
・学校給食費の改訂について（答申）
・令和 7 年度藤里町スポーツ・文化栄誉賞受賞候補者（追加分）の選考審議について

教育委員会議以外の活動状況

◎学校等教育施設及び社会教育施設の訪問

保育園、幼稚園、藤里学園等の各施設を訪問し、学校経営方針の説明や施設の管理状況などを確認した。

◎各種行事

藤里学園における入学、卒業などの式典をはじめ、運動会、学園祭などへ積極的に参加した。

教育委員会関係事業の実施状況及び評価

1 藤里町の学校教育

保育や教育の多様化及び施設の老朽化等の対応、幼児教育並びに学園教育活動の推進のため、環境の整備を図った。

(1) 保育・教育施設の整備充実

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合
①施設等整備事業（保、幼、学園、給食センター）	【保育園】 職員室照明器具交換、入口ホール照明灯交換、0歳児用手洗い場・洗濯室漏水修繕、給油管漏水修繕、ホール雨漏り補修、大便器ハンドル取替、手洗い場蛇口取替、施設周辺の草刈りを行い園内外の環境整備を図った。 【幼稚園】 入口タイル補修、職員室ブラインド補修、灯油配管補修、体育館・うめ組ストーブ入替、誘導灯ランプ交換を行い園内外の環境整備を図った。 【学園】 外壁補修、体育館出入り口扉修繕、野球用具庫破損窓ガラス交換のほか、山砂等を購入しグラウンド補修などの修繕を行い、児童生徒の安全・安心な学習環境の整備に努めた。また、トイレ清掃、窓ガラス清掃、空調設備清掃作業を行った。 冬期間の駐車場及び避難経路確保のため委託事業による敷地内除雪を実施したほか、屋上部に設置された空調設備室外機の安定稼働確保のための除雪作業を行った。 【給食センター】 混合栓カートリッジ取替、ガス給湯器修理、冷蔵庫修理、給食運搬車修繕、食管カート棚溶接修理、丸型電気フライヤー修繕、冷凍冷蔵庫修繕、消毒保管機部品交換、真空冷却機部品交換、回転釜部品交換、生ごみ処理機温度調節器交換を行い、調理に影響が生じないよう、施設の維持に係る修繕作業等職員からの依頼に早急に対処した。	A

②備品購入事業 (保、幼、学園、 給食センター)	【保育園】 なし 【幼稚園】 経年劣化による故障により、CDラジオカセット・デジタルカメラ・洗濯機を購入した。また、冷暖房機器がない廊下・園児用トイレの室温調整のため石油ファンヒーター・大型扇風機を購入し教育環境の充実を図った。 【学園】 部活動等に関する要望があり施設備品として、防球ネット等を購入した。また、教材備品としてはたがね、アクティビティ図マグネットシート、デジタルカメラ、卓球台を購入したほか、胎内・胎児発育模型、人の発生と発育模型、偏向極板入クルックス管、直径・半径説明器、立体の展開図説明器などの教育振興備品一式を購入し、教育環境の充実を図った。 【給食センター】 なし ※維持管理的なもの（保温食缶、消火器、電気衣類乾燥機）	A
--------------------------------	--	---

(2) 子育て支援の充実

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合						
①子育て支援センター事業	能代山本地区子育て支援センターとの合同開催を行い、他地区との交流や他施設の遊具等を使い、普段では味わえない体験し、育児支援の充実を図った。 0～2歳児の遊びのひろば「ばんぶ～ひろば」は、毎月開催することができ、子育て中の親子の交流を生むことができた。 また、講師を招いて子育て支援講座を開催するなど育児支援の充実を図った。	A						
②子ども・子育て支援事業	子ども・子育て支援法等に基づく「藤里町子ども・子育て支援事業計画」を基に、子育て支援に関する事業を展開した。	A						
③放課後児童健全育成事業	保護者が就労等により日中家庭にいない小学校低学年（1年生～3年生）を対象に、放課後の適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図った。 <table><tr><td>登録児童数（月により変動）</td><td>利用日数</td></tr><tr><td>令和6年度 27～28名</td><td>242日</td></tr><tr><td>令和7年度 27～29名</td><td>255日</td></tr></table>	登録児童数（月により変動）	利用日数	令和6年度 27～28名	242日	令和7年度 27～29名	255日	A
登録児童数（月により変動）	利用日数							
令和6年度 27～28名	242日							
令和7年度 27～29名	255日							

(3) 義務教育学校のための重点施策

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合																																																						
①第1次外国語教育推進事業	児童生徒の英語力の向上を図るため、藤里学園後期課程生徒が英検を、前期課程6年生児童が英検E S Gを受検し、その受検料を町が1回分負担した。 ○英検 令和7年度の級取得者及び取得率 <table><tr><th> 級 学年 </th><th>5級</th><th>4級</th><th>3級</th><th>準2級</th><th>合計</th></tr><tr><td>7年</td><td>9名</td><td>0名</td><td>0名</td><td>0名</td><td>9名</td></tr><tr><td>14名</td><td>64%</td><td>0%</td><td>0%</td><td>0%</td><td>64%</td></tr><tr><td>8年</td><td>5名</td><td>6名</td><td>1名</td><td>0名</td><td>12名</td></tr><tr><td>15名</td><td>33%</td><td>40%</td><td>7%</td><td>0%</td><td>80%</td></tr><tr><td></td><td>(67%)</td><td>(0%)</td><td>(0%)</td><td>(0%)</td><td>(67%)</td></tr><tr><td>9年</td><td>4名</td><td>5名</td><td>4名</td><td>0名</td><td>13名</td></tr><tr><td>14名</td><td>29%</td><td>36%</td><td>29%</td><td>0%</td><td>94%</td></tr><tr><td></td><td>(21%)</td><td>(43%)</td><td>(14%)</td><td>(0%)</td><td>(78%)</td></tr></table> ※（ ）内は令和6年度までの取得率 ※7年生は6年生のときに英検E S Gを受験しているので、前年度の比較値無し。 ○英検E S G（6年生）令和7年度のC S Eスコア及び総合レベル ・受検者数10名 ・C S Eスコア 団体平均総合 498/（550） <リスニング 233/（275） リーディング 265/（275）> 全児童が正答率85%以上 ○9年生の<u>英語力</u> ← 英検3級相当（英検3級、英検IBA 結果） R 5：70.0%（47.0%） R 6：42.1%（42.0%） R 7：29.0%（54.6%） ※（ ）内は秋田県の中学3年生の<u>英語力</u>	級 学年	5級	4級	3級	準2級	合計	7年	9名	0名	0名	0名	9名	14名	64%	0%	0%	0%	64%	8年	5名	6名	1名	0名	12名	15名	33%	40%	7%	0%	80%		(67%)	(0%)	(0%)	(0%)	(67%)	9年	4名	5名	4名	0名	13名	14名	29%	36%	29%	0%	94%		(21%)	(43%)	(14%)	(0%)	(78%)	B
級 学年	5級	4級	3級	準2級	合計																																																			
7年	9名	0名	0名	0名	9名																																																			
14名	64%	0%	0%	0%	64%																																																			
8年	5名	6名	1名	0名	12名																																																			
15名	33%	40%	7%	0%	80%																																																			
	(67%)	(0%)	(0%)	(0%)	(67%)																																																			
9年	4名	5名	4名	0名	13名																																																			
14名	29%	36%	29%	0%	94%																																																			
	(21%)	(43%)	(14%)	(0%)	(78%)																																																			
②外国語指導助手招致事業	藤里学園の外国語指導のほか、幼稚園を訪問して交流を図った。また、夏休み期間は、国際交流員（C I R）が講師を務める町営英語塾に補助として参加した。 【任用期間：令和7年8月7日～令和8年8月6日】	A																																																						

(4) 特別支援教育の充実

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合		
①各校等取り組みへの支援	特別支援教育支援員の能力向上のため、各種研修への参加を推奨した。	A		
②特別支援教育支援員・生活支援員の配置	幼稚園及び藤里学園での生活において支援を必要とする児童生徒に対して、一定数の特別支援教育支援員・生活支援員を配置することで、個人毎の異なる性格や状況を把握しながら、保護者からの要望に配慮した細やかな支援体制を実施した。 <table><tr><td>配置箇所、人数</td></tr><tr><td>幼稚園 4 名、藤里学園前期課程 5 名、藤里学園後期課程 1 名</td></tr></table>	配置箇所、人数	幼稚園 4 名、藤里学園前期課程 5 名、藤里学園後期課程 1 名	A
配置箇所、人数				
幼稚園 4 名、藤里学園前期課程 5 名、藤里学園後期課程 1 名				

(5) 不登校対応

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合
①各校等取り組みへの支援	不登校児童生徒の社会的自立や学校復帰を支援するために、令和6年度から「適応指導教室」を藤里学園内に設置し運営している。令和8年度から「教育支援センター」と名称を変更した。	A
②教育支援センターの設置、指導員の配置	専門の職員1名を配置し、心理的、情緒的要因により登校困難な状態にある児童生徒や、学級において集団生活になじめず、個別に対応が必要な児童生徒に対して、学習意欲や自立心、社会性などを高めることを目指した支援を、藤里学園の教員と連携しながら実施した。また、児童生徒とのカウンセリングや保護者との相談も実施した。	A

(6) 課外・校外活動の充実

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合								
①各校等取り組みへの支援	校外活動、宿泊体験、修学旅行等に対して交通手段の確保と、費用の一部を補てんするなどの支援を行った。	A								
②児童生徒派遣費補助金事業	義務教育学校部活動における各種大会に伴う生徒及び指導者の交通費、宿泊費等経費を援助し、保護者等の負担軽減を図った。 交通費については、校外活動等を含めて町民バス、福祉バス、町公用車の使用を優先的に行い、確保できない場合に限り、民間事業者からの借入としている。 <table><tr><th colspan="4">令和7年度活動一覧</th></tr><tr><td>野球部</td><td>バスケットボール部</td><td>卓球部</td><td>吹奏楽部</td></tr></table> ※体操、バドミントン競技についても同じように補助を行った。 ※陸上競技についてはスポ少活動のため、藤里町スポーツ少年団が補助を行っている。	令和7年度活動一覧				野球部	バスケットボール部	卓球部	吹奏楽部	A
令和7年度活動一覧										
野球部	バスケットボール部	卓球部	吹奏楽部							

(7) 学校給食

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合
①学校給食センター事業	町内農業者、農業協同組合の協力のもと、学校給食に地元産（藤里町若しくは秋田県内）の食材（米、野菜等）を利用するなど、地産地消の推進を図りながら地域に根付いた事業を実施した。	A

2 藤里町の社会教育

(1) 乳幼児教育

1. 重点目標

保護者の不安解消のために、育児のための講座等情報提供の充実を図るとともに、日常的に利用ができる場の確保に努める。

2. 令和7年度の重点施策

- ・学習情報提供の充実
- ・子育て支援の充実

3. 事業及び評価

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合						
①講習会・セミナー等への参加の奨励	県などで主催する各種講習会・セミナー等の情報について、随時対象となる町民や団体に広報等を通じて情報提供を行った。	A						
②家庭教育関係資料の収集・整理	図書室の司書と連携を取りながら、子育てに関する資料の収集・整理に努めた。また、各種企画展等の機会を利用して、資料を手にとってもらいやすい環境を整えた。	A						
③家庭教育学級の内容の検討	幼稚園に通う園児とその保護者を対象として、親子遊びの体験と子育てに関する講話を行う「家庭教育学級」を開催した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>月日</th><th>内容等</th><th>参加者 (前年度)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6/11 (水)</td><td> ・(親子遊び) 親子でヨガにトライ！ ・(講話)「自己肯定感を育む関わり」 ～プライベートゾーンの伝え方～ </td><td>43名 (50名)</td></tr> </tbody> </table>	月日	内容等	参加者 (前年度)	6/11 (水)	・(親子遊び) 親子でヨガにトライ！ ・(講話)「自己肯定感を育む関わり」 ～プライベートゾーンの伝え方～	43名 (50名)	A
月日	内容等	参加者 (前年度)						
6/11 (水)	・(親子遊び) 親子でヨガにトライ！ ・(講話)「自己肯定感を育む関わり」 ～プライベートゾーンの伝え方～	43名 (50名)						
④子育て教養講座の検討	保育園や子育て支援センターにて実施する子育て教養講座において、講師等の斡旋を行っている。	B						
⑤関連他部局・関係諸団体との連携強化	共催事業の実施等、関連他部局・諸団体とは、密に連絡をとり情報共有及び連携に努めた。	A						
⑥三世代交流館図書室	親子で本にふれあう機会として、生後9ヶ月の乳幼児を持つ保護者を対象とした、ブックスタート事業を実施し、合わせて2歳となった時点で同事業のフォローアップを行っている。	A						

(2) 在学青少年教育

1. 重点目標

学校外活動における指導者等協力体制や居場所を確保しながら、声かけ等を通じて交流を図り、地域とつながる関係性を構築する。

2. 令和7年度の重点施策

- ・子育て支援の充実
- ・ふるさとの歴史に誇りをもてる学習機会の提供
- ・あいさつから始まる心の健康づくり

3. 事業及び評価

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合						
①学校休業日・放課後活動事業	夏休みを中心とした、少年教室における生涯学習事業（芸術文化、郷土芸能）を実施したほか、長期休業中において放課後児童クラブからの依頼により、生涯学習奨励員が訪問し読み聞かせやかかるた遊びなどの活動を行った。 また、夏休み期間中、藤里学園プールを『町民プール』として開放した。幼児・児童・生徒が利用した。 <table><tr><th>開放期間 日数 (前年度)</th><th>延べ利用者 (前年度)</th></tr><tr><td>R7 7/23(水)～8/22(金) 27 日間(営業 13 日)</td><td>228 名</td></tr><tr><td>R6 (7/23(火)～8/23(金) 28 日間(営業 20 日))</td><td>(266 名)</td></tr></table>	開放期間 日数 (前年度)	延べ利用者 (前年度)	R7 7/23(水)～8/22(金) 27 日間(営業 13 日)	228 名	R6 (7/23(火)～8/23(金) 28 日間(営業 20 日))	(266 名)	A
開放期間 日数 (前年度)	延べ利用者 (前年度)							
R7 7/23(水)～8/22(金) 27 日間(営業 13 日)	228 名							
R6 (7/23(火)～8/23(金) 28 日間(営業 20 日))	(266 名)							
②地域と学校の連携・協働	地域と学校との協働活動を実施するための地域学校協働活動推進員を委嘱し、情報共有や連携協力体制を整備した。	A						
③あいさつと声かけの奨励	青少年育成藤里町民会議として活動を行い、子どもたちの健全育成ならびに福祉の増進、社会教育、家庭教育の充実について可能な支援を講じた。	B						
④ボランティア活動の奨励	ボランティアについては、既に学校や教委とのネットワークが機能しており、これまでどおり活動を支援し、今後も奨励していく体制がある。	A						
⑤家庭教育学級の内容の検討	藤里学園に通う児童・生徒の保護者を対象として、子どもの関わり方に関する講話を行う「家庭教育学級」を開催した。 <table><tr><th>月日</th><th>内容等</th><th>参加者 (前年度)</th></tr><tr><td>2/26 (木)</td><td>「子どものＳＯＳに気づき受け止めるおとなに」</td><td>70 名 (68 名)</td></tr></table>	月日	内容等	参加者 (前年度)	2/26 (木)	「子どものＳＯＳに気づき受け止めるおとなに」	70 名 (68 名)	A
月日	内容等	参加者 (前年度)						
2/26 (木)	「子どものＳＯＳに気づき受け止めるおとなに」	70 名 (68 名)						

⑥少年教室	例年同様、夏休み期間を利用して、3～9年生を対象とした「少年教室」を開催した。 6年度に引き続き、参加したい活動を2つまで選べるものとした。今後も子どもたちの意見を共有し、より充実した体験活動ができる場を提供していく。 <table><tr><th>月日</th><th>内容等</th><th>延参加者 (前年度)</th></tr><tr><td>7/22（火） ～10/25(土)</td><td>郷土芸能、将棋、茶道等 11 コース</td><td>114 名 (105 名)</td></tr></table>	月日	内容等	延参加者 (前年度)	7/22（火） ～10/25(土)	郷土芸能、将棋、茶道等 11 コース	114 名 (105 名)	A																			
月日	内容等	延参加者 (前年度)																									
7/22（火） ～10/25(土)	郷土芸能、将棋、茶道等 11 コース	114 名 (105 名)																									
⑦三世代交流館 図書室	藤里学園前期課程での読み聞かせ事業等を継続して実施しているほか、本を気軽に手に取ってもらえるよう、町内の事業所等、町民が集まる施設に移動文庫を設置し、3ヵ月毎に内容を入れ替えている。 令和2年度から開始した「あさとしょ（早朝開館：8:00～10:00）」を令和5年度より「夜間延長開館日（20日ごと：18:00～19:00）」に変更。また、おはなし会を織り交ぜた工作イベントのほか、随時テーマ展示を更新し図書利用の啓発に努めている。 <table><tr><th colspan="2"></th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr><tr><td colspan="2">貸出冊数</td><td>3,784 冊</td><td>3,924 冊</td></tr><tr><td rowspan="2"></td><td>うち児童</td><td>696 冊</td><td></td></tr><tr><td>うち団体</td><td>782 冊</td><td>782 冊（※1）</td></tr><tr><td colspan="2">来室者数（※1）</td><td>3,634 名</td><td>3,533 名</td></tr></table> ※1 貸出・返却者を含むすべての来館者数。 ○移動文庫設置施設数 <table><tr><th>年度</th><th>設置数</th></tr><tr><td>令和6年度</td><td>4 施設</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>3 施設（※2）</td></tr></table> ※2 湯ノ沢改善センター施設から撤収			令和6年度	令和7年度	貸出冊数		3,784 冊	3,924 冊		うち児童	696 冊		うち団体	782 冊	782 冊（※1）	来室者数（※1）		3,634 名	3,533 名	年度	設置数	令和6年度	4 施設	令和7年度	3 施設（※2）	A
		令和6年度	令和7年度																								
貸出冊数		3,784 冊	3,924 冊																								
	うち児童	696 冊																									
	うち団体	782 冊	782 冊（※1）																								
来室者数（※1）		3,634 名	3,533 名																								
年度	設置数																										
令和6年度	4 施設																										
令和7年度	3 施設（※2）																										

○夜間延長開館日利用者数

	令和6年度	令和7年度
4月	0名	3名
5月	2名	3名
6月	2名	2名
7月	0名	4名
8月	23名 (※3)	6名
9月	1名	0名
10月	3名	0名
11月	8名	1名
12月	7名	2名
1月	7名	3名
2月	10名	0名
3月	4名	3名
計	67名	27名

※3 令和6年度8月は、延長開館日におはなし会を設定したため、参加者数が利用者数に反映されている

○イベントの開催

実施月	内 容 等	参加者
4月	ぬいぐるみおとまり会	25名
7月	ミニおはなし会とワークショップ	10名
8月	大人の読書会	6名
8月	こわいおはなし会「夜の図書室スタンプラリー」	25名
10月	図書室まつり 「図書室ハロウィーン!!」	7名
11月	図書室めぐり・まちめぐり	16名
12月	クリスマスおはなし会と ワークショップ	17名
12月	ミニおはなし会とジャンボかるた とり大会	12名
2月	「愛」を語る読書会	4名
3月	おはなし会&レク 「イースターエッグをさがせ！」	12名

(計 134 名 ; 前年度 106 名)

(3) 青年教育

1. 重点目標

意識調査によるふるさとへの意見、要望等を踏まえながら、生涯学習活動の充実、地域コミュニティ活動の支援に努める。

2. 令和7年度の重点施策

- ・学習情報提供の充実
- ・地区活動の支援

3. 事業及び評価

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合
①講習会・セミナー等への参加の奨励	町、県などで主催する各種講習会・セミナー等の情報について、随時対象となる町民や団体に広報等を通じて情報提供を行っている。	A
②自主活動グループの育成	新規のグループの設立はなかった。今後も活動に係る相談や必要な支援等の体制を整備していく。	B
③地域活動への参加の奨励	各地区活動推進協議会と連携し、補助金の交付や運営面での支援などを実施し、地域活動の活性化に努めた。	A
④青年の意識調査	成人式出席者を対象に意識調査（アンケート）を実施した。アンケートの内容については、商工観光課、総務課などと協議の上で作成した。	A
⑤成人式	成人式実行委員会を設置し、祝賀会等の運営方針については新成人の意見を取り入れながら決定するなど、最終的に自主運営を目指した体制作りを進めている。	A

(4) 成人教育

1. 重点目標

参加者の確保につなげるため、電子媒体を活用した情報提供や地域間交流の推進、講座・体験学習等実施時間の見直しなどによる、新たな学びの機会の創出に努めながら、郷土を後世に伝える人材の育成を推進する。

2. 令和7年度の重点施策

- ・学習情報提供の充実
- ・ふるさとの歴史に誇りをもてる学習機会の提供
- ・生涯学習、芸術文化によって育む豊かな心

3. 事業及び評価

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合									
①講習会・セミナー等への参加の奨励	町、県などで主催する各種講習会・セミナー等の情報について、随時対象となる町民や団体に広報等を通じて情報提供を行っている。	A									
②講師等人材の育成と確保	成人教育講座を実施する中で、一度限りの講師ではなく長期的な指導者として、また、講座参加者が学びを深めることで自身が教える側になるような興味を引く講座を検討していきたい。	B									
③自主活動グループへの支援	既存団体は、従来どおりの支援を行っている。 新規のグループの設立はないものの、今後も随時対応していく。	B									
④地域活動への参加の奨励	主に各地区活動推進協議会の活動支援を通して、地域活動の一層の活性化に努めた。	A									
⑤学習機会の提供	令和4年度から新たに成人教育講座を実施し、様々な学びの機会を提供している。	A									
⑥成人教育講座	令和5年度から、新たな学びの機会として、「大人のスキルアップ講座」を開催した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>月日</th><th>内容等</th><th>参加者</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3/8（日）</td><td>手作りハーバリウム workshop</td><td>6名</td></tr> <tr> <td>3/17（火）</td><td>イチから学べる NISA と ideco</td><td>9名</td></tr> </tbody> </table> （計 15 名；前年度全 3 回 19 名）	月日	内容等	参加者	3/8（日）	手作りハーバリウム workshop	6名	3/17（火）	イチから学べる NISA と ideco	9名	A
月日	内容等	参加者									
3/8（日）	手作りハーバリウム workshop	6名									
3/17（火）	イチから学べる NISA と ideco	9名									

(5) 高齢者教育

1. 重点目標

高齢者世代が興味を持って参加したいと思えるよう、既存の生涯学習・芸術文化活動の内容の検証を図りながら新規事業の創出に努め、新規参加者の掘り起しや新たな講師等人材の確保につなげる。

2. 令和7年度の重点施策

- ・学習情報提供の充実
- ・ふるさとの歴史に誇りをもてる学習機会の提供
- ・生涯学習、芸術文化によって育む豊かな心

3. 事業及び評価

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合						
①講習会・セミナー等への参加の奨励	町、県などで主催する各種講習会・セミナー等の情報について、随時対象となる町民や団体に広報等を通じて情報提供を行っている。	A						
②学習機会の再確認	ふじこま大学閉校時にアンケートをとり、次回開催に向けての検討資料としている。	A						
③地域活動の参加の奨励	主に各地区活動推進協議会の活動支援を通して、地域活動の一層の活性化に努めた。	A						
④関連他部局・関係諸団体との連携	外部の講師を依頼する講座を行う際には、秋田県庁の出前講座などを利用し、県や他自治体との積極的な連携を行った。	A						
⑤ふじこま大学	例年同様、各種教養講座や発表会を開催した。年々受講者が減少傾向にあり、また、講師の確保についても町内だけでは難しくなっていることから、新規参加者の勧誘、町外の講師起用について、これまで以上に対応を検討していく必要があると考えている。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>月日</th><th>内容等</th><th>参加者 (前年度)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5/8（木） ～11/6（木）</td><td>書道、茶道、切り絵等 10 コースのほか、年 4 回の教養講座を実施</td><td>40 名 (45 名)</td></tr> </tbody> </table>	月日	内容等	参加者 (前年度)	5/8（木） ～11/6（木）	書道、茶道、切り絵等 10 コースのほか、年 4 回の教養講座を実施	40 名 (45 名)	A
月日	内容等	参加者 (前年度)						
5/8（木） ～11/6（木）	書道、茶道、切り絵等 10 コースのほか、年 4 回の教養講座を実施	40 名 (45 名)						

(6) 社会体育

1. 重点目標

すべての町民がスポーツを楽しみ、充実した活動につなげることができるよう、各種団体への助成や環境の整備を含めた支援体制を整える。

2. 令和7年度の重点施策

- ・全ての町民のスポーツを通じた、交流の場の創出・健康づくり
- ・スポーツを楽しむ環境づくり
- ・子どものスポーツ活動の支援

3. 事業及び評価

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合
①効果的な情報提供	チラシ・ポスターやホームページ、町広報など、様々な媒体でスポーツに関する行事等の情報提供を行った。	A
②学習機会の提供	事業計画どおりに家庭バレーボール大会等の町民向けスポーツイベントを実施し、町民が気軽にスポーツに親しむことのできる機会を提供した。	A
③自主活動グループの支援並びに主催事業の奨励	例年同様、体育施設の整備や、スポーツ協会への支援を通して、各種スポーツ団体を支援している。また、主にスポーツ協会加盟団体主催のスポーツ大会等への後援も行っているが、会員の減少等に伴い行事の開催が難しい団体も出てきている。	B
④町民各世代の社会体育の推進に努める	駅伝・マラソン大会など、運動のきっかけづくりとして各種事業を実施。例年の事業においては、高齢者に比べて働き盛りの世代の参加率が低い傾向にあることが課題である。	B
⑤スポーツ推進委員	各種スポーツイベント時に、競技の指導や補助を担当している。また、委員自身の技術向上のため各種研修等への積極的な参加を推奨している。	A
⑥関連他部局・関係諸団体との連携	スポーツ協会・総合型スポーツクラブ・スポーツ少年団等、各種スポーツ団体の活動と連携して、各世代の町民がスポーツに取り組みやすい体制を町全体として作っている。	A
⑦各種スポーツ教室の実施	町営スキー場廃止により、藤里スキークラブ会員へ指導を依頼し例年実施している、教育委員会主催事業のスキー教室は事業廃止。	—

⑧各種スポーツ大会の実施	年間を通して様々なスポーツ大会を開催したほか、町民のスポーツを通じた交流および社会体育の推進を目指した活動を行った。 <table border="1" data-bbox="488 371 1235 808"> <thead> <tr> <th>月日</th><th>内容等</th><th>参加者 (前年度)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10/5 (日)</td><td>駅伝・マラソン大会</td><td>延べ 92 名 (延べ 126 名)</td></tr> <tr> <td>11/5 (水)</td><td>家庭バレーボール大会</td><td>25 名 (28 名)</td></tr> <tr> <td>1/21 (水) 1/28 (水) 2/4 (水)</td><td>ナイター家庭バレーボール大会</td><td>延べ 92 名 (延べ 56 名)</td></tr> </tbody> </table>	月日	内容等	参加者 (前年度)	10/5 (日)	駅伝・マラソン大会	延べ 92 名 (延べ 126 名)	11/5 (水)	家庭バレーボール大会	25 名 (28 名)	1/21 (水) 1/28 (水) 2/4 (水)	ナイター家庭バレーボール大会	延べ 92 名 (延べ 56 名)	A
月日	内容等	参加者 (前年度)												
10/5 (日)	駅伝・マラソン大会	延べ 92 名 (延べ 126 名)												
11/5 (水)	家庭バレーボール大会	25 名 (28 名)												
1/21 (水) 1/28 (水) 2/4 (水)	ナイター家庭バレーボール大会	延べ 92 名 (延べ 56 名)												
⑨各種スポーツ団体に対する支援	各種スポーツ団体に対して、活動費の補助や主要大会への選手派遣費の補助を行っているほか、総合型スポーツクラブ（ふじさとスポーツクラブ）における通年での活動や各種交流大会の運営等にも協力している。	A												

(7) 公民館活動

1. 重点目標

事業のPRに努めながら、生涯学習・社会教育活動への積極的な参加を促すとともに、地域づくりのための方策を講じるなどして、指導者の育成、継承につなげる。

2. 令和7年度の重点施策

- ・地域活動の支援
- ・生涯学習、芸術文化によって育む豊かな心
- ・芸術・文化活動等指導者の育成と伝統芸能の継承
- ・文化・伝統芸能施設の充実

3. 事業及び評価

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合															
①効果的な情報提供	広報等紙媒体の他、学園経由で児童・生徒に直接チラシ配布をするなどして、情報提供をした。	A															
②地域活動の参加の奨励	各地区活動推進協議会と連携し、補助金の交付や運営面での支援などを通して、地域活動の活性化に努めた。	A															
③関連他部局・関係諸団体との連携	公民館事業の講師面で、芸文協団体やスポーツ推進委員と連携をして活動している。	A															
④公民館サークルの活動支援	公民館において活動しているサークルに対し、活動費を補助している。	A															
⑤公民館の施設及び設備の充実	藤里町公民館である総合開発センターは、老朽化が進んでいるが、年次計画を立て修繕を実施している。但し、財政面から、すぐには実現しない項目もあることから、引き続き要望していく。	A															
⑥公民館事業の実施	公民館の主催事業として、例年どおりの事業を実施したほか、今年度も町民スポーツ大会を開催した。 引き続き、利用者のニーズに合わせたメニューの設定を検討していく必要がある。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>月日</th><th>内容等</th><th>参加者 (前年度)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6/26（水）</td><td>町民スポーツ大会 (NEWスポーツ)</td><td>23名 (23名)</td></tr> <tr> <td>7/22（火） ～10/25(土)</td><td>少年教室</td><td>73名 (72名)</td></tr> <tr> <td>1/9（金）</td><td>書き初め大会</td><td>13名 (12名)</td></tr> <tr> <td>1/16（金） ～3/17(火)</td><td>和友教室</td><td>16名 (14名)</td></tr> </tbody> </table>	月日	内容等	参加者 (前年度)	6/26（水）	町民スポーツ大会 (NEWスポーツ)	23名 (23名)	7/22（火） ～10/25(土)	少年教室	73名 (72名)	1/9（金）	書き初め大会	13名 (12名)	1/16（金） ～3/17(火)	和友教室	16名 (14名)	A
月日	内容等	参加者 (前年度)															
6/26（水）	町民スポーツ大会 (NEWスポーツ)	23名 (23名)															
7/22（火） ～10/25(土)	少年教室	73名 (72名)															
1/9（金）	書き初め大会	13名 (12名)															
1/16（金） ～3/17(火)	和友教室	16名 (14名)															

(8) 芸術・文化活動

1. 重点目標

芸術文化の活動の場を広げるとともに、文化講演会・芸術鑑賞会等の開催や様々な年代が触れ合える新たな機会を設け、町民の知識視野の拡大を図る。

2. 令和7年度の重点施策

- ・学習情報提供の充実
- ・町民の知識視野の拡大
- ・生涯学習、芸術文化によって育む豊かな心

3. 事業及び評価

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合
①効果的な情報提供	広報等紙媒体の他、防災無線やホームページ等を活用し、情報提供をした。	A
②優れた文化・芸能に触れる機会の創出	文化講演会と芸術鑑賞会を1年置きに開催している。令和7年度は、芸術鑑賞会を実施した。	A
③地域と学校の連携・協働	6月～10月に行う学園正課クラブにおいて、切り絵・生け花を実施し、芸文協団体等と在学青少年の交流機会を深めた。	A
④町民祭	町民祭当日に展示作品の一般開放を行うとともに、町民芸能発表会を実施した。	A
⑤文化講演会・芸術鑑賞会	11月7日（金）、桃月庵白酒氏による芸術鑑賞会（落語独演会）を実施。 町内外約100名の来場があり、大盛況で終了した。	A
⑥新規講座・教室の実施	新規講座・教室の開設はなかった。引き続き、新たな指導者の確保・育成に努めていきたい。	B

(9) 文化財保護・郷土芸能継承

1. 重点目標

文化財、郷土芸能を後世に継承するため、調査や保存、指導者等の確保に努めながら広く情報を提供するとともに、触れ合う機会を創出して、町民の意識高揚を図る。

2. 令和7年度の重点施策

- ・芸術・文化活動等指導者の育成と伝統芸能の継承
- ・文化財の調査・保護の推進
- ・文化財に触れ合う機会の創出
- ・文化・伝統芸能施設の充実

3. 事業及び評価

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合
①効果的な情報提供	広報等紙媒体の他、防災無線やホームページ等を活用し、情報提供をした。	A
②芸能保存団体の活動の支援	藤里町芸術文化協会への支援（補助金交付等）のほか、各種芸能団体へ文化財の保存及び伝承のための支援を行っている。 また、国・県や民間団体による補助金の情報を各芸能団体に対して提供している。	A
③町民祭での発表・展示の奨励	町民祭において、少年教室の成果発表の場を設け、作品展示や芸能発表を実施した。	A
④文化財の保護	県指定天然記念物である櫟等の樹勢診断を専門家に依頼するなど、文化財の保護に努めた。	A
⑤歴史民俗資料館の活用	白神山地世界遺産センターが改修中のため、三世代交流館2階を会場に「白神の森のマタギ展ミニ」と題して出張展示を行った。	A
⑥切り絵原画の保存と活用	白神山地世界遺産センターが改修中のため、三世代交流館2階を会場に切り絵展を開催した。	A
⑦文化施設・伝統芸施設及び設備の充実	施設修繕の計画はなかったが、文化財を良好な状態で保存できるよう努めたほか、伝統芸能の保存伝承のための支援を行った。	A

(10) 町づくり学

1. 重点目標

地域の課題解決に向けた様々な取り組みの中で、児童・生徒と地域住民が一体となった学校づくり、町づくりを実践できるよう支援する。

2. 令和7年度の重点施策

- ・「学校・家庭・地域」の連携と協議による人づくり・きずなづくり
- ・地域・学校が互いに育む関係性の構築

3. 事業及び評価

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合																		
①町づくり学の内容の検討	藤里学園で実施するふるさとキャリア教育「町づくり学」について、地域学校協働推進員を通じた講師の紹介等支援を行った。	A																		
②地域と学校の連携・協働	町内の団体、企業、地域学校協働活動推進員等の協力も得ながら、充実した内容を設定できるようサポートした。	A																		
②町づくり学事業の充実	藤里学園における町づくり学はふるさとキャリア教育の一環として定着してきている。	A																		
③資料の教材化と活用	「町づくり学」を推進するため、人的・物的資源等の洗い出しを行い、必要な「もの・ひと・こと」の提供を行った。	A																		
④町づくり学	各学年でそれぞれのテーマに沿ったふるさとキャリア教育を実施した。 <table><tr><td>1年生</td><td>藤里町の自然に親しもう（大野岱放牧場他）</td></tr><tr><td>2年生</td><td>藤里町のすてきを見つけよう（町内施設）</td></tr><tr><td>3年生</td><td>藤里町の名人から学ぼう（味噌づくり他）</td></tr><tr><td>4年生</td><td>白神山地の恵みを広めよう（調査、白神山水販売活動等「ふれあいフェア」にて）</td></tr><tr><td>5年生</td><td>藤里町のおいしい特産品をアピールしよう（オリジナルランチの提供「こみっと」にて）</td></tr><tr><td>6年生</td><td>藤里町の魅力を発信しよう（修学旅行での発信他）</td></tr><tr><td>7年生</td><td>今をまもり、未来へつなごう（藤里町の資源調べ、白神山地のPRと保護&観光推進活動）</td></tr><tr><td>8年生</td><td>みんなにやさしい藤里町にするために福祉に関する活動を広げよう（職場体験とふるさと活性化プロジェクト）</td></tr><tr><td>9年生</td><td>ふるさとの活性化をめざして～全国や世界への発信～（首都圏でのマーケティング調査と町づくりへの提言）</td></tr></table>	1年生	藤里町の自然に親しもう（大野岱放牧場他）	2年生	藤里町のすてきを見つけよう（町内施設）	3年生	藤里町の名人から学ぼう（味噌づくり他）	4年生	白神山地の恵みを広めよう（調査、白神山水販売活動等「ふれあいフェア」にて）	5年生	藤里町のおいしい特産品をアピールしよう（オリジナルランチの提供「こみっと」にて）	6年生	藤里町の魅力を発信しよう（修学旅行での発信他）	7年生	今をまもり、未来へつなごう（藤里町の資源調べ、白神山地のPRと保護&観光推進活動）	8年生	みんなにやさしい藤里町にするために福祉に関する活動を広げよう（職場体験とふるさと活性化プロジェクト）	9年生	ふるさとの活性化をめざして～全国や世界への発信～（首都圏でのマーケティング調査と町づくりへの提言）	A
1年生	藤里町の自然に親しもう（大野岱放牧場他）																			
2年生	藤里町のすてきを見つけよう（町内施設）																			
3年生	藤里町の名人から学ぼう（味噌づくり他）																			
4年生	白神山地の恵みを広めよう（調査、白神山水販売活動等「ふれあいフェア」にて）																			
5年生	藤里町のおいしい特産品をアピールしよう（オリジナルランチの提供「こみっと」にて）																			
6年生	藤里町の魅力を発信しよう（修学旅行での発信他）																			
7年生	今をまもり、未来へつなごう（藤里町の資源調べ、白神山地のPRと保護&観光推進活動）																			
8年生	みんなにやさしい藤里町にするために福祉に関する活動を広げよう（職場体験とふるさと活性化プロジェクト）																			
9年生	ふるさとの活性化をめざして～全国や世界への発信～（首都圏でのマーケティング調査と町づくりへの提言）																			
⑤成果の発表	11月18日（火）に藤里学園で発表会を行った。保護者、副町長、教育長、町議会議員、学校運営協議会の委員にも児童生徒の取組を紹介し、町に対して提言を行った。	A																		

(11) 現代的な課題

1. 重点目標

環境問題や町づくりなどを通じて国際社会、SDGsに興味を持ち、様々な地域・文化等と交流したいと思える人材を育成する。

2. 令和7年度の重点施策

- ・学習情報提供の充実
- ・国際社会へ対応した人材の育成

3. 事業及び評価

主な事務事業名	評価（結果・成果・課題等）	総合						
①講習会・セミナー等への参加の奨励	町、県などで主催する各種講習会・セミナー等の情報について、随時対象となる町民や団体に広報等を通じて情報提供を行っている。	A						
②情報の収集	研修等に積極的に参加し、情報収集に努めるとともに、必要に応じ、関係団体に情報提供を行っている。	B						
③外国出身者等への支援	国際交流協会に対する補助金等を通じて活動を支援している。	A						
④自主活動グループの育成と活動の支援	新規のグループの設立はなかった。今後も活動に係る相談や必要な支援等の体制を整備していく。	B						
⑤日本語教室	国際交流協会による日本語教室については、月2回、第2・第4金曜日に実施し、運営を支援している。 <table><tr><td></td><td>受講者</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>3名</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>2名</td></tr></table>		受講者	令和6年度	3名	令和7年度	2名	A
	受講者							
令和6年度	3名							
令和7年度	2名							